

(標準的なモデルであり、個によって指導内容が異なる)

教科等のねらい

- ・日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。

主な指導内容

- ・【聞く・話す】相手の話し言葉に慣れ、簡単な説明や話し掛けが分かる。(デイリーカリキュラム)
相手の話し掛けに、身振りや動作、音声や簡単な言葉で応じたり表現したりする。
(姿勢/話し手を見ること/口形・音声模倣/声の大きさ・速さ/返事/身振りや簡単な言葉での表現)
- ・【読む】文字などに関心をもち、読もうとする。
(自分の名前/身近なものの名前の平仮名/絵本やテレビに出てくるものの名称/表示やマーク)
- ・【書く】文字を書くことに興味をもつ。(デイリーカリキュラム)
(姿勢や筆記用具の持ち方、なぐり書き、点つなぎ、線や形の模写、簡単な平仮名、カタカナ、漢字、自分の名前)

iPad や VOCA、図書室などの利用

評価方法

- ・児童一人一人の課題・指導内容に応じて5観点(①関心・意欲・態度、②話す・聞く、③書く、④読む、⑤知識・理解・技能)を基に評価規準を設定する。
- ・記録ファイルや提出物などで確認する。
- ・指導したことが身に付いたか、日常生活に生かすことができたか、複数名で多様な視点、場面で評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容(◎重点)	主な学習活動	評価の観点
4 5	「真似して言ってみよう」	○姿勢、口形、声の大きさ ○「ブーブー」「わんわん」など単音の音声模倣	・鳴き声や音を題材にした簡単なお話や歌に親しむ。例;パネルシアター『ぼんくんの友達』 ・教師の口形や音声を模倣しながら、鳴き声や音を発声する。	①② ②
6 7	「文字に親しもう①」	○平仮名2～3文字で構成される単語の読み	・慣れ親しんだお話を見聞きしながら、登場人物の名称を示す平仮名を教師と一緒に読む。	④②
9 10	「文字に親しもう②」	◎身の回りにあるものの名称(名詞)や用途(動詞)の表現 ○平仮名2～3文字で構成される単語の読み	・名称を聞いて実物を取り出したり、「はさみ」「ぼうし」「こつぶ」などの平仮名を教師と一緒に読んだりする。 ・「切る」「被る」「飲む」などの動作を言葉や身振りで表現する。	②④ ⑤
11 12	「いろいろな線を書こう」	◎いろいろな筆記用具でのなぐり書き ○フェルトペンによる硬筆	・雨、雲、蛇、線路などを題材にした簡単なお話に親しみ、関わる様々な線や形を書く。	③

		<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、筆記用具の持ち方 ・ペン先のコントロール ・筆圧の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・直線、曲線、ジグザグ線などを書く。また、点、枠、迷路など実態に応じた手掛かりにより、平仮名を構成する線を書く。 	③⑤
12	「年賀状を書こう」	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統文化 ○書き方、簡単な書字 	<ul style="list-style-type: none"> ・正月や年賀状を題材にしたお話により、日本の文化に触れる。 ・名前、いろいろな線（干支の絵）を書いたり、スタンプを押したりして年賀状を書く。 	①② ③
1	「書き初めをしよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○毛筆による書字（平仮名） ・文字の配列、 ・習字道具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く文字の意味を知る。 ・半紙の中に入るよう気を付けながら正しい書き順で書く。 	① ③⑤
1 2 3	「文字に親しもう③」	<ul style="list-style-type: none"> ◎平仮名2～3文字で構成される単語の読み ○カテゴリー分類 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものや絵を見て名称を言ったり、平仮名カードを取ったりする。 ・教師と一緒に「食べるもの」「乗るもの」などの分類をする。 ・簡単なゲーム 例;平仮名神経衰弱 	①②⑤ ⑤ ⑤

【デイリー・カリキュラム】

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
通 年	「伝え合おう」	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢、挨拶、返事 ○注目 ◎正しい口形と発声、動作と音声の模倣 ・身体の部分の名称 ・相手に伝わる明確な言動 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは教師の号令で、後に児童の号令で、身振りサインを交え挨拶をする。 ・曲のリズムに合わせて、指先で顔を揉み解したり、舌を動かしたり、母音を発声したりする（顔の体操）。 ・簡単な手遊びや体遊びをする。 	② ②⑤ ⑤
	「お話伝え合おう」	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢、注目 ◎簡単な言葉や身振り・動作での表現 ・絵本の読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを見聞きする。 ・話に出てくる簡単な台詞や繰り返す台詞などを、一緒に読んで楽しむ。例;簡単な劇遊び ・話に関わる簡単な質問に答える。 	② ①② ②
	「名前を書こう」	<ul style="list-style-type: none"> ○フェルトペンによる書字（平仮名の名前） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた手掛かり（手本、線の枠、点つなぎなど）により、記録シートや提出物に平仮名で名前を書く。 	③

【ALT に合わせ実施】

	「外国語に親しもう」	<ul style="list-style-type: none"> ○日本とは異なる文化 ・英語に触れること ・英語の挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく簡単な英語歌や英語での挨拶などに触れる。 ・ALT を迎えての活動（2h） 	②
--	------------	---	---	---

